

# カイゼンで叶える

## 「幸せな働き方」

「健康経営」「働き方改革」など、従来の日本の労働のあり方を見直す動きが高まるなか、とりわけ厳しい労働環境がイメージされるIT業界で、自由で柔軟な働き方を推進し、今年2月に「岐阜県ワークライフバランス推進エクセレント企業」に認定された岐阜市のweb制作会社(株)リーピー取材しました。

社員22名、デザイナー16名が在籍する県内最大手のweb制作会社である同社の福利厚生制度は非常にユニーク。この自由な労働環境が呼び水となって県内外から入社希望者が集まり、社員の実に半数以上が県外からの移住採用です。

- 裁量労働制  
出退勤の概念はなく、働く時間は自分で決める
- 年間休日130日＋有給休暇
- 昼休み最大2時間
- 男性の育児休業取得を義務化(最低10日間)
- ユニークな制度
  - アート感じる制度  
美術館・映画・芝居など
  - アート鑑賞費用を補助  
(5,000円/月)
  - 目をいたわる制度  
ブルーライトカット眼鏡代を補助  
(6,000円/回)
  - ぜいたく目業制度  
1,000円以上の目業支給
  - 私、本読みます制度  
業務に関する書籍代を全額補助
- 社内イベント
  - 社員旅行(春・秋 年2回 二泊三日)
  - 夏のキャンプ(9月 一泊二日)
  - 映画デー(2月・8月 社内で映画鑑賞)
  - スポーツデー(4月・11月)
  - 健康増進デー(不定期)「プロのトレーナーによる指導」



### 人生の「大事な時間」を大切にしたい働き方

2013年、川口社長は東京から奥様の実家がある岐阜市へ移り住むことになり、過去2,000社以上のweb戦略を見てきた経験を生かし地方企業を元気にしたいと思いを立ちます。

「首都圏には故郷や住環境の良い地方への移住ニーズが結構あるのですが、働く場があるのが大きな不安要素。地方企業が元気になって雇用が拡大すれば、移住者をはじめ人口が増えさらに活性化する好循環が生まれます」

起業にあたり力を入れたのが「働きやすい環境づくり」。東京で大手転職エージェントに勤めていた経験から、都市部に比べ採用が不利な岐阜で優秀な人材を確保する為に欠かせないと考えました。制度づくりには3人のお子さんを持つ川口社長自身の育児体験が大きく影響しています。

「子供の成長に触れたい、休みは多い方が良い、そんな「こうあったら幸せ」という想いがベース。人生で一番大事な瞬間に立ちあえる働き方を目指しています」

### 「働き方改革」の実現に向けた「カイゼン」

年々受注数が増える一方で、生産性の問題が浮き彫

### 副業での経験を生かす働き方へ

「これから、会社のあり方は間違いなく変わっていく。会社中心で生きていく時代は終わりました」

そう断言する川口社長。今後は「副業」をテーマに、さらなる働き方改革を進めていく予定で、余った時間を趣味や副業に充て、その経験が業務に活かされる、その好循環に期待します。

「企業は働き方改善に努め社員の時間を増やす。趣味に費やすのか、副業で収入を得るのか、社員自身が判断できる状態こそが個人の幸せに繋がると考えています」

「働き方改革」への誤った対応は、業績を悪化させてしまう場合があります。

「社の利益」と「社員の幸せ」。どちらも実現するにはどうしたら良いのか。(株)リーピーの取り組みが一つのモデルケースとなることを期待します。



(株)リーピー  
 〒500-8891 岐阜県岐阜市香蘭3-7  
 Tel. 058-215-0066

**経営をも変える、HPの構築**

同社は広告や積極的な営業活動は行っていないにも関わらず毎月50件近くの問い合わせが入り、クライアントは全国に広がっています。

「弊社HPを見てお問い合わせいただくことが多いですね。制作物の高いクオリティを評価していただいているのはもちろん、webで地方をおもしろくするという弊社の理念や、ユニークな働き方改革に共感してくださるようです」

もちろん、口コミや紹介も多くあります。

「心身が健やかな状態で制作に専念できているので技術力が上がりクオリティがどんどん向上する。これが顧客満足に繋がっているのだと思います」

HPでのPRによる受注増と人材確保の実現という同社の成功ノウハウをお客様にも提供できるのが他社にない大きな強み。

「webサイトは単なる会社案内ではありません。もはや、経営のあり方をも変えてしまう武器なんです」

**社員の声**

マネージャー  
**鬼頭慶多 さん**

創業時から勤めています。育児休業を2回取り日々変化する娘の成長を楽しんでいます。自宅でテレワークも可能で、保育園の送迎や病気にも柔軟に対応できます。

よく使うのは「アート感じる制度」。気になる作品を気軽に見に行き楽しんでいます。

休日が多く、働く時間も少ないのですが日々業務効率化を図っているため、質は確実にアップしています。

3か月に一度、社長が社員の前で社の方針を話す場があり、今の売上や推移、目標値などを皆で共有しています。社の成長度合いや今後を具体的にイメージできるのも当社ならではの感覚です。

**社員の声**

マネージャー  
**野村公則 さん**

以前は名古屋の同業他社に1時間半かけて通勤していました。朝7時から終電までの激務で身体を壊してしまい、そんな時リーピーの会社見学に訪れ、転職を決意。労働時間が劇的に減り、規則正しい生活で健康を取り戻しました。妻が出産の為入院した際には、裁量労働制に助けられました。自分の時間、家族との時間が増え、働く満足度はとても高いです。

徹底的に無駄を省くカイゼン文化も自分にはしっくりきています。社員同士、また社長との距離が近く、直接相談できる関係性が大きな問題が起きるリスクを低減していると思います。



(株)リーピー  
 代表取締役 **川口 聡 さん**

りに。HP制作の受託は営業、デザイン、プログラミングの工程ごとに時間がかかり、全体の採算管理がうまくいかず赤字のケースもありました。そこでトヨタ自動車OBをアドバイザーに迎え「カイゼン」に着手。工程を細分化し要する時間・コスト・スキルを明確にし、現状・理想・問題点を示し、解決策を考えました。同時に、すぐに取り組める活動として、案件ごとの反省会、レイアウト変更による動線改善、マニュアル作成などに着手。

「一番の目的は社員への「カイゼン文化の醸成」でした。どうしたらもっと効率良くできるか、自ら考え改善するカルチャーがあれば利益は後からついてくる」

その他にも

- ・ 業界では当たり前前、デザイナーイメージを作った営業は行わない
- ・ 会議は極力しない
- ・ テレワークの導入
- ・ ビデオ会議ツールを活用

「昨年名古屋支社を開設しました。営業拠点ではなく周辺に住む社員が働きやすいようにです。長い通勤時間は心身を疲弊させ生産性を落としてしまう。意思疎通はビデオ会議で問題なしです。これは遠方のクライアントとの打ち合わせにも有効です」